



広報

つがる

2005

9.15

No.15

●市の人口と世帯数（平成17年9月1日現在） 人口 40,128人（男 19,278人／女 20,850人） 世帯数 13,131世帯



真っ赤な炎に包まれ馬ねぶたが昇天

9月3日、馬ねぶたパレードと馬市まつりのクライマックスとなる新田火まつりが行われました。

夜に行われた新田火まつりでは、モッコの会のメンバーがたいまつを掲げ神楽を披露し、馬ねぶたに次々と火が放たれると、20台の馬ねぶたが真っ赤な炎に包まれ夜空を焦がしました。

（関連2P・12P）

主な内容

馬市まつり・馬ねぶたパレード	2
チェスボローカップ水泳駅伝大会	3
かしわ夏まつり・下車力保健福祉館が完成	
つがる市少年防犯弁論大会	4
つがる市成人式	5
第1回旭富士杯県下小学校 隆の里杯県下中学校相撲大会	
死亡事故現場の交通診断・	
交通安全モデル校に看板設置	6
命の大切さを考える・健康推進課だより	7
街の話題	8～9
稲藁とくん炭で水質をきれいに・	
新任英語指導助手（ALT）紹介	10
お知らせ	11
馬市まつり・馬ねぶたパレード	12

仮装大賞



東北農政局津軽農業水利事務所

馬ねぶた大賞 知求群会



馬ねぶた製作大賞



登山ばやし保存会

馬市まつり

九月一日から四日間、馬市まつりが開催され多くの人で賑わいました。

馬ねぶたパレード

九月三日、馬ねぶたパレードが行われ、馬ねぶた二十台、仮装ハチムキ、踊り十三チームの二十五団体約千百人が参加し、ユニークな仮装や華麗な流し踊りを披露し、沿道の観客から大きな拍手を受けていました。

馬ねぶた大賞には知求群会、仮装大賞には東北農政局津軽農業水利事務所、馬ねぶた製作大賞には登山ばやし保存会、踊り大賞には富泡農協女性部が選ばれました。

館岡チーム



フィッシングクラブ穴会



木造高等学校



つがる市建設業協会



藁の会



エイズ克服
実行委員会



上町子ども会育成会



落中馬っこ愛好会



つがる市商工会青年部



上町ねぶた会



NPO法人あいうえおの会



蓮沼親和会



福原チーム



坂本東一後援会



松原子供会



林学区チーム



つがる市職員チーム



木造地区郵便局





チエスボローカップ水泳駅伝大会

七十九チームが泳ぎつなぐ

八月七日、チエスボローカップ水泳駅伝大会が車力漁港マダグアビーチで行われ、県内外から五人一組の七十九チームが参加して、力泳を繰り広げました。

チエスボロー号遭難百周年をきっかけとして、平成二年（一九九〇）から始まったチエスボローカップ水泳駅伝大会は、車力村とバス市の直線距離にあたる一〇、二〇〇kmを、一チーム五人、全参加者の合計距離を毎年累計して泳ぎ切るという大会で、参加者全

員で目指す壮大な夢へのチャレンジは「勇気と愛は海を超える」のキャッチフレーズ通り、今年も全国はもろろん、世界各国から参加者が集まりました。

選手たちは、号砲とともに勢いよく海に飛び込み、家族や仲間からの大きな声援を受けながら力泳しました。

みごと泳ぎ切った選手たちには、つがる市特産のメロンが振舞われ、お互いの健闘を讃えあっていました。



みんな一緒にゴール（ジュニアチーム）

オープンクラス 5,000m

順位	チーム名	時間
1位	ウイング五所川原	1時間02分43秒
2位	たかしファンクラブ	1時間07分09秒
3位	脇坂組	1時間07分31秒
4位	OSP イケメン(?)ズ	1時間14分06秒
5位	MANBOW S	1時間14分57秒

レディースクラス 2,500m

順位	チーム名	時間
1位	アドレナリン5（ファイブ）	36分05秒
2位	OSP レディースSUPER	41分55秒
3位	splash まーめいど	42分29秒
4位	ハススイマーズクラブベリメロン	44分43秒
5位	クロール上級 A	46分42秒

シニアクラス 2,500m

順位	チーム名	時間
1位	ハススイマーズクラブ・ガンコヤジ	38分05秒
2位	make あ Splash	38分46秒
3位	アカデミー Dandys 海猿	38分58秒
4位	esfins 宮城	42分04秒
5位	青森鉄人会	45分23秒

ジュニアクラス 500m

順位	チーム名	時間
1位	Gahons' Jr	13分44秒
2位	アカデミー エンジェルハート	13分54秒
3位	ウイングJRSUPER BOMBERS	14分49秒
4位	マディーウォーターズ	22分36秒
5位	バス市チーム	26分40秒

ハーフオープンクラス 2,500m

順位	チーム名	時間
1位	AUST（オースト）代表	33分45秒
2位	WAVE	34分35秒
3位	ハススイマーズ・元気が一番	34分38秒
4位	ウイング五所川原 B	43分09秒
5位	TEAM FIRST STEP	44分02秒



かしわ夏まつり

盆踊り大会に600名が参加

かしわ夏まつりが、8月20日、イオン柏ショッピングセンター東側駐車場でおよそ600名が参加し、盛大に開催されました。

「やぐら」を囲んでの盆踊り大会は、かしわ太鼓の太鼓音や竹乃會の囃子も加わり迫力満点で、観衆らを魅了しました。

この日のために、そろいの衣装やゆかたに身をつつんだ参加者たちは、やぐらから流れる囃子にのって舞い踊り、飛び入り参加者も出て踊りの輪が幾重にも連なり、観客から盛んな拍手が送られ、まつりが盛り上がりました。



そろいのはっぴ姿で参加



自作の衣装で参加



熱弁をふるう 館岡中2年 辻亜希さん

九月五日、木造西中学校で、市内七中学校から十五名が参加

辻亜希さん(館中二年)が連続優勝

つがる市少年防犯弁論大会

して、第五十三回つがる市少年防犯弁論大会が行われました。

参加者らは、持ち時間五分間で、防犯や明るく住みよい社会づくりなどについて、巧みな表現で意見発表を行いました。

個人では「生きる」という

こと」と題して発表した、館岡中学校二年生の辻亜希さんが二年連続優勝、二位には同中三年野呂奈菜美さん、三位には木造西中学校一年鎌田慎さんが入賞。団体では、一位館岡中学校、二位木造西中学校、三位森田中学校でした。

住民らが完成を祝う

下車力保健福祉館が完成

八月十日、今年一月から工事が進められていた、下車力保健福祉館が完成し、地域住民や関係者が出席して落成記念式典が行われました。

長年、住民の集会所として利用されてきた保健福祉館を建て替えたもので、建物は木造平屋建てで、百二畳の大広間、会議室、調理室などを備え冷暖房が完備されています。



完成した下車力保健福祉館



平成17年度つがる市成人式

縁^{ゆえん}～ともに歩もう新たな旅路～

八月十五日、つがる市となつて初の成人式が、対象者四百七十六人のうち、三百二十九人が出席して生涯学習交流センター松の館で行われました。福島市長は「つがる市の未来を作るのは皆さんの若い力。勇気と行動力を持つてほしい」と式辞。新成人代表の石戸谷有香さんが誓いの言葉を述べました。

成人式をむかえて

人生を精一杯歩んでいく

稲垣町 石戸谷 有香



気がついたらもう大人として扱われ、この二十年間どれだけ周りの人に守られ支えられてきたのか、考えることなんて一度もありませんでした。

親元を離れ、当たり前だった環境から一転して、全て一人でこなさなければならなくなった時、親のありがたさを知りました。また友達、先生、先輩、後輩、等に助けられ、時には影響されて私という人間が形成されたように思います。

私はとても周囲の人々に恵ま

れました。普段は恥ずかしくてあまり言えないのでこの場を借りて『ありがとう！』と感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございます。

誰にも生まれたときから、無数の選択があります。今までの人生を、もし客観的に無限連鎖のように見ることができたら、面白いかもしれません。いつも『今』を精一杯生きることは楽しいけど、決して簡単ではありません。この先、さらに沢山の人々と出会い学びながら一歩一歩、私の人生を精一杯歩んで行きたいと強く思います。

恩返しをしていきたい

森田町 葛西 直人



早いもので、今年が僕達の成人の年になりました。

成人を迎えその分自覚を持つて行動しなければいけない成人としての責任、三大義務、そこで自分は成人として目標をたてました。

それは「恩返し」をしていきたい。ここまで成長したのもいろんな人達の力があってこそだと感謝しています。

だから、これからは出来る限りお世話になった人達へ「恩返し」していきたい。それが自分の、今の大きな目標です。

自覚をもって行動したい

稲垣町 蝦名 郁恵



二〇〇五年八月十五日、私達二十歳をむかえる若者が成人式を行いました。成人式をむかえて改めて成人になった実感がわきます。

合併してつがる市となり、市民として第一回目の成人式は、考えていたよりも多くの同級生達と再会し、楽しく終えることができました。皆、良き思い出になったと思います。

『縁』とともに歩もう新たな旅路』のタイトルを胸に、成人＝大人という自覚をもって行動したいと思いました。未成年とは違うので、少しずつでも前を見て、未来をひっぱっていかれる人になりたいです。この先のつがる市が、より良く発展していくことを願いながら、大人の仲間として恥をかかない人間になれるようにしたいです。

第一回 旭富士杯県下小学校 隆の里杯県下中学校 相撲大会

二百四十人が熱戦を繰り広げる

八月二十八日、森田スポーツ

パーク相撲場で、二百四十名の

小・中学生が参加して、第一回

旭富士杯県下小学校相撲大会と

第一回隆の里杯中学校相撲大会

が開催されました。

旭富士杯県下小学校大会は旧

木造町で、隆の里杯中学校大会

は旧森田村で開催されてきまし

たが、つがる市誕生を機に一緒

に開催したもので、県内外から

参加した小中学生が熱戦を繰り

広げました。

結果次のとおり

●第一回旭富士杯

▽小学校団体

優勝 舞戸小（鯉ヶ沢町）

二位 つがるクラブA

三位 鳴沢小（鯉ヶ沢町）

三位 田子町A（田子町）

▽新相撲団体

優勝 南金沢小（鯉ヶ沢町）

二位 斗川小（三戸町）

三位 向陽小A

▽個人▽小学校一年

優勝 川村（森田）

▽小学校二年

優勝 菊地（元気塾）

▽小学校三年

優勝 打越（中泊道場）

▽小学校四年

優勝 新保（舞戸小）

▽小学校五年

優勝 野呂（つがるクラブ）

▽小学校六年

優勝 長内（梅沢小）

▽新相撲小学校一・二年

優勝 今日和（舞戸小）

▽新相撲小学校三・四年

優勝 白濱（長者小）

▽新相撲小学校五年リーグ戦

優勝 大高（向陽小）



個人小学5年の部で野呂健治くんが土俵際に追い詰められたがその後上手投げで勝って優勝を決める



野呂健治くん(つがるクラブ)



大高静流さん(向陽小)



高森大治くん(つがるクラブ)

▽新相撲小学校六年
優勝 加藤（十和田小）
●第一回隆の里杯

▽中学校団体

優勝 出金館クラブA（田金館村）

二位 中泊道場（中泊町）

三位 北辰中（弘前市）

三位 つがるクラブ

▽個人▽中学軽量級

優勝 斗沢（桜田道場）

▽中学中量級

優勝 葛西（鶴田中）

▽中学重量級

優勝 高森（つがるクラブ）



死亡事故現場の交通診断

七月二十九日、つがる警察署や福島市長ほか関係者二十人が、交通死亡事故現場を検証し、今後の事故防止対策を検討しました。

六月二十五日に稲垣町で、バイクを運転して転倒していた男性が死亡した現場と、七月十五日の車同士の事故で二人が死亡した、牛潟町の交差点を検証した関係者から「草が障害とならないよう処置」「ミラーを増設」「減速用のマーキングを施工」などの意見が出されました。つがる警察署では、早速、草



福島市長ら関係者が死亡事故現場を検証

交通安全モデル校に看板設置 下繁田小学



つがる地区交通安全協会により、平成17年度の交通安全モデル小学校に指定されている、市立下繁田小学校に「交通安全モデル校」の大型看板を設置しました。

地区交通安全協会の桜庭会長は「市内で交通死亡事故が多発しているので車には充分気をつけてください」とあいさつ。その後、交通安全教室が行われ、児童を代表して6年生の神真優香さんが「交通事故に遭わないように気をつけます」と誓いました。

命の大切さを考える

地域ワークショップを開催

七月三十日、松の館で、子どもと大人が本音で語り合う地域ワークショップ「なぜ、命は大切なもの？」が開催され、西北五地域などから参加した小中学生や高校生、大学生、大人ら六十人が、ゲームやグループ討議を通じて命の大切さを考えました。

この地域ワークショップは、命を大切にする心を育む県民運動推進事業として、県が二年計画で県内六地域で開催するもので、つがる市が最初の開催地となりました。

会場では、弘前大学非常勤講師の成田洋子さんがコーディネーターを務め「命は自分のものだから生きるも死ぬも自分の自由」をテーマに、八班に分かれて意見を出し合いました。



コーディネーターの成田洋子弘前大学非常勤講師



グループ討論する中学生のグループ

各班では、参加者らが交互に「賛成」「反対」の立場に立って考えを主張し合い「命は自分だけのものではない」「自ら命を絶つのは自分勝手」などの意見に対し、「いじめなど絶えがたい苦しみを持っている人もいる」「生きるのがつらいときは死ぬのも仕方ないこと」「自分の命を絶つのは親の愛に背くことと許されない」などの意見が出されました。

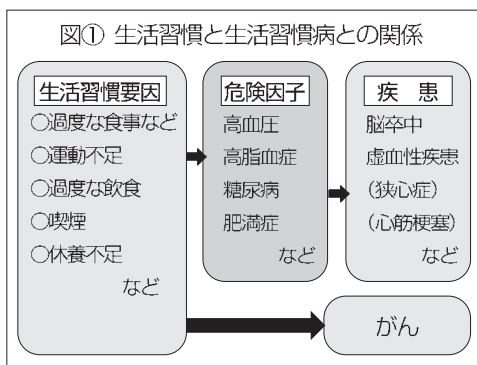
また、長崎県佐世保市で起きた、小学生が友達を刺殺した事件などを取り上げた小学生の班では「仲良しの友達を刺すなんて考えられない」「命を奪う殺人は取り返しのつかないこと」との意見が出され、一人ひとりの命の大切さについて考えました。

健康推進課だより

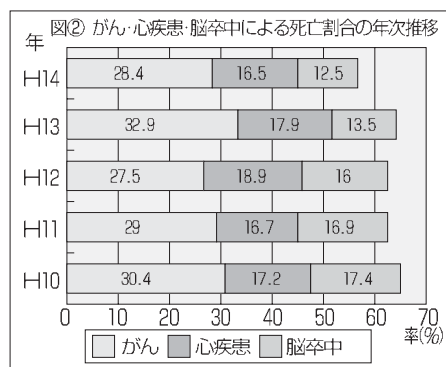
市では、「働き盛りの人が生活習慣病を予防し、健やかに活力ある生活ができること」を目指して成人保健活動を展開しています。

生活習慣病ってなに？

みなさんが健やかで活力ある生活を送るために、健康は欠かせずこのできない一つの条件です。その健康を阻害している主な病気に「がん」「心臓病」「脳卒中」などがあります。



図①に示すように、これらの病気の起因となる危険因子が「高血圧」「高脂血症」「糖尿病」「肥満症」などであり、さらに



つがる市の死亡統計のデータを見ると、図②に示すように、「がん」「心臓病」「脳卒中」による死亡数が総死亡数の約六割を占めています。

また、市で実施している基本健康調査の結果をみると、異常所見者で最も多いのが「高脂血症」(五三・七%)、次いで「高血圧」(四四・二%)であり、平成十二年度から平成十四年度の四年間で「高脂血症」「糖尿病」

その病気の発症や進行には、生まれつきの「遺伝要因」、病原体や有害物質などの「外部環境要因」に加え、運動不足、過食や偏食、喫煙、過度の飲酒、休養不足などの「生活習慣要因」が深くかかわっています。

そのため、「がん」「脳卒中」「心臓病」「高血圧」「高脂血症」「糖尿病」「肥満症」などの病気を総称して生活習慣病といいます。

は約十六%増加しております。「高脂血症」「高血圧」「糖尿病」の危険因子を改善、予防することによって、「心臓病」「脳卒中」などの病気を予防することができるとです。

ただ、この危険因子はいずれも自覚症状が乏しく、生活習慣と密接に関連しているために、知らず知らずのうちにからだをむしばんでいきます。危険因子の背景にある生活習慣の改善こそが何より大切です。

生活習慣病の予防対策としては、日常生活を見直し健康的な生活習慣を心がけ、実行することと発症自体を予防する「一次予防」、定期的に健診などを受け、病気を早期に発見、治療する「二次予防」、適切な治療を受け、積極的にリハビリや機能維持、病気の再発防止する「三次予防」があります。

これまでは、病気を早期に見、治療することが主眼でしたが、現在では、病気になる前段階の生活習慣を改善することが重要であるとされております。

一人ひとりが自分の生活習慣を見直すとともに、健診などを受け、自分の健康状態を把握し生活習慣病を予防していきましよう。

☆お問い合わせは、健康推進課まで。
内線二四四

車イス体験活動

木造ボランティア連絡協議会

木造ボランティア連絡協議会では、車イスで町内を巡り、その体験をもとに地域の福祉向上につなげようと、8月18日、木造地区の中学生、市議会議員、一般参加者などおよそ50名で車イス体験活動を行いました。

参加者は、5班に分かれ車イスで道路や商店街を歩いてみたり、公共施設等に入ってみるなど、およそ2時間体験を行いました。



安治川部屋激励会

安治川部屋つがる市後援会

8月9日、松の館で安治川部屋つがる市後援会（会長 福島弘芳）による、安治川部屋激励会が行われ、市民らおよそ300名が参加しました。安治川親方（元横綱 旭富士）からは近況報告が行われ、力士を囲みながら歓談していました。

また、安治川部屋では、木造で8月4日から一週間夏合宿を行い九月場所に向けて強化に取り組んでいました。

戦没者の冥福を祈る

戦没者追悼平和祈念式

8月23日、松の館で戦没者追悼平和祈念式が、遺族や関係者およそ200人が参列して行われました。

黙とうの後、福島市長が「みなさんの尊い犠牲を忘れず、多くの教訓を心に刻んで、平和の大切さを次の世代に伝えて行きたい」と追悼のことばを述べ、参列者全員が白菊を献花し、犠牲者を悼んでいました。



街路灯を寄付

東北電力(株)五所川原営業所と(株)ユアテック五所川原営業所が、8月10日、市に街路灯を寄付しました。

両営業所では「明るい街づくり」の一助として、昭和45年から毎年2回各市町村持ち回りで寄付しているもので、この度、当市に街路灯1基を寄付しました。

12名に委嘱状を交付

市廃棄物減量等推進審議会

市では、深刻化するごみ急増に対処するため、長期的、総合的視点にたって、計画的なゴミ処理の推進を図ろうと、8月1日、12名に廃棄物減量等推進審議会委員の委嘱状を交付、会長に菊地久雄氏（木造若緑）が選任されました。

審議会では、計画案を平成18年1月までに作成することになっています。





つがる市文化団体協議会を設立

8月5日、松の館で、つがる市文化団体協議会の設立総会が開催されました。

設立総会では、規約や平成17年度の事業計画が承認され、初代会長に木造つがる宝生会の野呂隆昌氏が選任されました。同会では、市民文化の交流と振興に寄与することを目的に今後活動していくことにしています。

母の会連合会が発足 つがる市交通安全母の会連合会

8月22日、松の館で、つがる市交通安全母の会連合会の設立総会が開催され、各地区の会員らおよそ50人が出席しました。

旧5町村の母の会の組織を統合したもので、初代会長に花岡トキさんが選任されました。同会では、交通安全は家庭からをスローガンに、今後地域から交通事故の撲滅を目指して活動を展開していくことにしています。



親子で調理実習

8月1日、木造保健センター調理室において、親子ふれあい調理実習が行われました。

望ましい食習慣の定着、心身の健全育成を図るための一環として行われたもので、この日は冷やしうどん、かぼちゃとそら豆のさっと煮を作り、親子で楽しく調理していました。子供たちは「自分でつくったものはおいしい」と言いながら、なれなれしい作業に取り組んでいました。



牛瀧(2)遺跡と筒木坂屏風山遺跡で見学会

市教育委員会は8月21日、牛瀧(2)遺跡と筒木坂屏風山遺跡で、市民を対象にした見学会を開催しました。

牛瀧(2)遺跡は縄文時代から平安時代にかけての複合遺跡で、昨年度から本格調査が行われ、これまで5棟の住居跡が確認されたほか、東西に延びる柵の跡とみられる溝も見つかっています。また、筒木坂屏風山遺跡は土器などが多数出土しています。



出稼ぎ者の安全を祈願

9月6日、三新田神社でつがる市出稼者安全就労祈願祭が行われ、福島市長や関係者らが玉串を奉納し、安全就労を祈願しました。

続いて、松の館で出稼者安全就労集會が開催され、およそ100名が出席、五所川原職業安定所の職員が近年の出稼ぎ状況について報告されました。

また、ロビーでは健康相談も行われ、血圧測定等も行っていました。

稲垣中

稲わらとくん炭で
水質をきれいに

稲垣中学校の一年生四十八人が総合学習で、環境教室（エコフィッシュの学習）をおして、稲垣町の環境について学習しています。

稲わらともみ殻くん炭を使った学習は六年目を迎え、東北工業大学環境情報工学科の近藤祐一郎助教授や市役所の協力で行っています。

平成十二年には稲垣中学校の生徒が、わらづとの中にもみ殻くん炭を入れた「エコフィッシュ」を作って水路浄化に成果



稲わらと薫炭でエコフィッシュを作る生徒

を挙げ、平成十四年三月に日本水環境学会東北支部の水すまし賞に選ばれています。
八月三十日、稲わらともみ殻くん炭でエコフィッシュを作成しました。



エコフィッシュを設置

生徒たちは、わらを束ねたり、巻き結びなどに苦労しながらも、百個あまりのエコフィッシュを完成させ、近くの排水路二ヶ所に設置しました。

水質測定は、上流と下流の水温、COD、電気伝導率、溶存酸素、水素イオン濃度を測り比較、することになっています。

※「エコフィッシュ」

わらづとの形が魚に似ていることから、このように呼ばれています。

新任英語指導助手 (ALT) 紹介

教えることと学ぶことが大好き



ウォーフリイ・アリソン Woolfrey Alyson (アメリカ)

アリと申します。8月から車力中学校の英語指導助手(ALT)となりました。教えることと学ぶことが大好きで、皆さんと交流することを楽しみにしています。小さい頃から、ずっと日本と日本文化に興味がありました。つがる市に来られて住む機会を得ることに、とても感謝し、様々な人々と友達になれたらいいなと思っています。

私の趣味は料理と語学で、一番好きなスポーツは合気道と自転車乗りです。将来的には、語学者になれたらいいなと思います。大学教授もいいな。日本にいる間に日本語をもっと勉強することと日本料理を習うこともしたいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

私を見かけたら、声をかけて



エルスティン・ブライアン Elstein Brian (アメリカ)

エルスティン・ブライアンと申します。22才です。アメリカ北東部にあるペンシルヴェニア州アレンタウン市から参りました。料理、ギター、ハイキング、絵を描くこと、彫刻することを含めて、色々な趣味があります。日本語はまだペラペラではありませんが、早く上達するように一生懸命努力しています。

木造で私を見かけたら、遠慮なく挨拶して下さい。つがる市の多くの子供たちに英語を教えることを楽しみにしています。皆さんと暮らして勤める機会を得ることを光栄に思います。私の滞在がつがる市の豊かな文化と多様性をさらに深めることを願います。

2度目の青森県が楽しみ



ボルトン・ダミアン Boulton Damian (オーストラリア)

私は森田中学校での英語指導助手ボルトン・ダミアンと申します。私の妻コリーンと息子ダニエルと一緒にオーストラリア・ゴールドコーストから参りました。

自国ではジョキング、ハイキング、ヨガ、ラグビーなどのスポーツを楽しんでいます。料理、読書、音楽を聴くことも好きです。

10年前、私とコリーンは青森市に住んでいました。コリーンはALTで、私はたまに明の星高校で英語を教えていました。その時期がとても楽しくて、今回青森県にまた戻ることに決めました。青森では自然を満喫してスキーをしたり、料理、そして地元の人々の温かいもてなしを受けました。津軽では、冬の雪、秋の紅葉、そして素晴らしく美しい春が楽しみです。また、新しい友達ができることも楽しみにしています。

平成18年度コミュニティ助成事業募集

コミュニティ助成事業は、地域におけるコミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を行うことを目的として、財団法人自治総合センターが宝くじ普及広報に係る収入を財源として行っている事業です。

○助成対象

つがる市における自治会、町内会などの地域的な共同活動を行っている団体又はその連合体。

(特定目的のために組織された宗教団体、営利団体、公益法人、趣味の愛好会等の団体は除く。)

○助成内容

助成事業	助成内容	例	助成金額
一般コミュニティ助成事業	環境美化、健康増進、交通安全、防犯、まつり、運動会、文化、学習、レクリエーション、福祉活動等に必要施設・設備等	芝刈機、除雪機、防犯灯、太鼓、ハンデン、テント、視聴覚機器、スポーツ用具、コミュニティ掲示板等	100万円～250万円
緑化推進コミュニティ助成事業	広場、公園やコミュニティ施設周辺への植樹、植栽、花壇整備に要する苗や用具等	苗木、種子、花壇、プランター、緑化に係る用具等	50万円～200万円

詳しくは(財)自治総合センターホームページ <http://www.jichi-sogo.jp/enterprise/lottery/community/index.html>

○申請方法

申請にあたって必要な書類は申請団体で作成していただきます。

提出期限は10月14日(金)までです。

問い合わせ・提出先 市役所 企画課(内線325)

「英語文化講座」参加者募集

内 容：外国の文化講座と英会話(初級、中上級の2クラスを編成予定)

日 時：10月5日・19日
11月2日・16日・30日
12月14日(隔週水曜日)
午後7時～8時45分

場 所：松の館・視聴覚室
(11/2は市役所3階会議室)

対 象：高校生以上

参加費：無料

講 師：クリス・ヘインジ(国際交流員)、英語指導助手

定 員：30名

※申込者多数の場合は、前回の「初心者英会話教室」に参加されていない方を優先し、なお多数の場合は抽選とします。

申込み先

市役所 企画課(内線325)〈9月30日まで〉

「つがる市認定農業者協議会」設立と会員募集

経営感覚に優れた農業経営を目指すという目的から、この度「つがる市認定農業者協議会」を設立することになりました。

この協議会には、認定農業者をはじめプロの経営者を目指している農業者の方々にもご加入していただき、会員相互の研さん会や研修会等を実施しながら、経営意欲の向上や効率的かつ安定的な農業経営を目指します。現在会員を募集しています。

なお、事務局はつがる市役所・農林水産課に設置しておりますので、詳細については問い合わせ下さい。

設立準備委員代表 山口 豊 寿(木造土滝)

設立準備委員 太田 昭 悦(木造近野)

〃 工藤 芳 久(柏広須)

〃 今 裕 次(森田町森田)

〃 大 高 聖 功(稲垣町沼崎)

〃 工藤 三千輝(車力町若林)

設立準備委員 佐々木 直 光(柏 稲 盛)

〃 半 田 秀 幸(森田町山田)

〃 秋 元 秀 昭(稲垣町吉出)

〃 黒 滝 彰(稲垣町繁田)

〃 工藤 恒 實(牛潟町村上)

問い合わせ 市役所 農村水産課(内線412)

知求群会



富范農協女性部



木造高等学校



柏連合婦人会



福原チーム



つがる市建設業協会



登山ばやし保存会



林学区チーム



稲垣レクダンスYOSAKOIチーム



上町子ども会育成会



つがる市職員チーム



木造地区郵便局



松原子供会

